

希望の与謝野を
実現する

7つの道標

特集①

令和3年度 施政方針

町政運営の基本的な考え方を示す
「施政方針」。3月4日開会の町議会
3月定例会において、山添町長から7
つの方針が示されました。その概要と
新規事業についてお知らせします。

06 持続可能な行財政基盤の確立



▼実質的な借金返済額が標準的な財政規模に占める割合を表す実質公債費比率が、起債の発行（まちの借金）に許可が必要となる18%に近づいており、令和3年度は公金の適正化、公共施設の適正化、第3次行政改革大綱に示されている方針と取り組みを実行していくことにより、財政計画に基づき将来にわたり健全性を確保する。

07 住民参画のまちづくり



▼「みんな」「みらい」「みえる」は、第2次与謝野町総合計画に掲げるまちづくりの基本理念。これに基づき、限られた行政資源の中で、持続可能な行財政と総合計画の将来像の実現をめざす。住民の皆様のまちづくりへの参画を促し、納得感を得たまちづくりを進めるため、各種広報媒体による情報発信を強化するとともに、これまで以上に住民の皆様と行政の双方へのコミュニケーションを図る。



開かれた議論の場づくり

住民参加型のまちづくりを推進するため、関係人口を含む多様な住民のアイデアや意見を積極的に取り入れながら施策や計画などを作り上げる仕組みとして、オンライン上に開かれた議論の場をつくります。

移住相談窓口設置

移住者の不安解消や情報提供など側面的な支援に加え、相談支援ネットワークの構築や関係人口の創出・拡大をめざす移住相談窓口を新たに設置します。また、移住して事業を展開する方への支援も行います。



04 暮らしと経済を守る



▼中小企業振興基金条例の理念に沿い、創業支援、新規開拓など産業全般のさらなる支援を行うとともに、ウイズコロナ・ボストコロナを見据えた挑戦への支援を拡充し、持続可能な産業構築をめざす。場産業である織物業、農業では民間企業とともに生産性向上や京改の豆っこ肥料製造工場の運営改善に取り組む。

商品開発、国内・海外

02 社会的に立場の弱い人たちに寄り添う

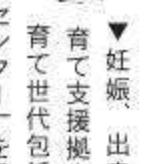


▼コロナ禍においては、障害者、高齢者、子ども等、社会的に立場の弱い人たちに大きな影響を及ぼしていることを踏まえ、真に寄り添った支援が必要。障害者や高齢者に寄り添い、支援サービスを提供いたいている民間事業者を力強く支援する。ひきこもり等により長く職に就くことができなかつた方々に対しても、居場所を新たに1ヵ所増設し、就労準備等の取り組みを充実させる。

03 子どもたちの夢と希望を応援する



▼妊娠、出産、子育て支援拠点「子育て世代包括支援センター」を子育て支援課内に設置する。加悦地域認定ことも園の令和3年度内の開園をめざすとともに、NPO法人こととの森保育園による小規模保育所の設置に対して支援する。小中学校ではICT教育で次世代の人材を育てる。コロナ禍で影響を受けた子どもたちの夢の実現を応援するプロジェクトの実施や、好奇心を育む取り組みに支援を行う。



ファミリーサポートセンター

仕事と子育てを両立し、安心して子育てができる環境をつくるため、子どもの世話をできないときなどに臨時に地域の人が子育てを応援する相互援助組織としてファミリーサポートセンターを新たに設置します。



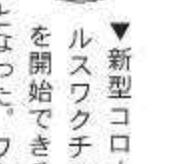
子どもの夢応援プロジェクト

小中高生一人ひとりが持つ夢を家族で語り合い、その実現に向けた経費に対して1万円を上限に交付します。また、課外活動を通して子どもたちの好奇心を育む事業に取り組む団体等を支援します。

01 新型コロナウイルス感染拡大を防止する



接種プロジェクトチームを設置し、安全かつ迅速に事業を進められるよう与謝医師会との調整を図ってきた。新型コロナウイルスの脅威は、高齢者や疾患のある方などに及びやすいため、関連施設におけるPCR検査体制の強化を支援する。機関と連携を密にしながら、住民の皆様の命と健康を守ることと感染拡大の防止に取り組む。



誰にでも優しく、
ポストコロナを見据えて
前向きに変化するまちに。



PCR検査キット購入助成

介護事業所等において感染が疑われる職員に対して実施するPCR検査について、検査キットを購入する場合に購入費の一部を補助し、安心して福祉サービスの維持・提供ができるよう支援を行います。

>> 令和3年度 主な新規事業